

**令和3年度 国土技術政策総合研究所 技術提案評価審査会  
議事概要**

日時：令和4年3月2日（水） 10：00～11：30

場所：【委員】各大学

【国総研】つくば旭庁舎8階会議室

横須賀庁舎2階応接室

出席委員：別紙の通り

## 1. 令和3年度の実施結果について

### （1）主な内容

- ①令和3年度のコンサルタント業務ほかの発注実績について報告
- ②令和3年度の技術提案評価の実施結果について、以下を報告。
  - ・契約方式別技術提案評価件数、個別審査会の審査会開催状況。
  - ・個別審査会において、全ての技術提案評価について妥当と確認された。
  - ・全ての技術提案評価について、競争参加者からの苦情申し立てはなかった。

### （2）委員からの意見

- ・特段の意見はなく、実施結果について確認された。

## 2. 令和3年度の入札・契約の取り組みについて

### （1）主な内容

令和3年度の入札・契約実施方針について、以下を提案。

#### ①働き方改革への取り組み

- ・発注手続き前倒し（上半期発注）、履行期限の平準化への取り組みの継続
- ・新型コロナウイルス対応による一時中止に対し、繰越制度の活用などで十分な履行期間を確保
- ・プロポーザル方式、総合評価落札方式（標準型）の特定（評価）テーマ設定数について、1テーマ設定とする発注額を1000万円以下から2000万円以下とし、応募者の負担軽減を図る取り組みの継続
- ・休業期間を考慮した業務実績年数緩和の継続
- ・簡易公募型プロポーザル方式における「拡大型」原則採用の継続
- ・情報システム改良業務等における「参加者の有無を確認する公募手続き」の活用継続
- ・ウィークリースタンス、ワークライフバランスの取り組みの徹底
- ・業務スケジュール管理表の活用徹底
- ・受発注者間の業務打合せにおけるWeb会議の活用継続
- ・情報共有システム（ASP）の活用継続

#### ②品質確保対策

- ・建設コンサルタント業務において、従来価格競争としてきた案件について総合評

価落札方式（簡易型）を原則採用する取り組みの継続

- ・建設コンサルタント業務の低入札対策として総合評価落札方式において履行確実性評価の継続

→ 1 件実施、低入札対策強化のため、評価方法の一部見直し（後述）

#### ③競争環境の確保

- ・従前から取り組んできた競争性を確保するための取り組みを継続
- ・ウィークリースタンスの徹底と業務スケジュール管理表の活用徹底を特記仕様書に明記
- ・契約手続き中における既存資料の Web 閲覧の試行開始

#### ④入札契約の実施概要

- ・発注方式の考え方は業務、工事、役務とも従前どおり継続
- ・業務、工事、役務とも、総合評価落札方式において賃上げ実施を表明した応募者に対する加点措置（技術（加算）点の5%以上で設定）を追加
- ・建設コンサルタント業務における管理技術者の保有資格を評価項目に追加
- ・建設コンサルタント業務における管理技術者の平均業務成績の評価方法を改定（最近の業務成績評定点の動向を踏まえ、評価スケールを見直し）
- ・建設コンサルタント業務の総合評価落札方式における技術提案の評価方法について、標準案に満点の6割～7割程度の点を与えることで、低入札の時に履行確実性評価が適切に機能するように運用ルールを改定
- ・建設コンサルタント業務の総合評価落札方式（簡易型）において求める実施方針等について、発注者が示す履行上のポイントを提示し、それに対する履行上の課題や対応方針など求めるよう改定
- ・その他、建設コンサルタント業務における評価配点の改定

#### ⑤その他

- ・個別審査会は引き続き Web 会議方式を採用

### （2）委員からの意見

- ・企業の賃上げに対する評価について、毎年3%（1.5%）の賃上げを続けていくのは企業には厳しいと感じる。引き続き、本省レベルで制度運用について検討されるとのことなので、宜しく願いしたい。
- ・これまでも様々な対策がなされているが、個別審査会の経験上1者応札が多い。1者応札であった案件毎に、競争参加しなかった企業にアンケートで理由を聞いて、運用改善にフィードバックさせている取り組みは評価できるので、こうした取り組みを含め、引き続き応札者を増やす対策を継続されたい。
- ・新年度からの運用ルール（配点）改訂において、管理技術者のCPD実績のウエイトが小さくなる部分に関しては、建設コンサルタント業界等とのコミュニケーションを継続されたい。
- ・そのほか、入札・契約実施方針について了承された。

以 上

## 令和3年度 国土技術政策総合研究所技術提案評価審査会委員名簿

所	属	役 職	氏 名	会 議
東京都立大学都市環境学部		特任教授	宇治 公隆 (会長)	出 席
筑波大学システム情報系		教授	有田 智一	出 席
東京都立大学都市環境学部		教授	砂金 伸治	出 席
明治大学理工学部		教授	上野 佳奈子	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	亀田 敏弘	出 席
東京理科大学理工学部		教授	菊池 喜昭	出 席
東京工業大学環境・社会理工学院		教授	北詰 昌樹	出 席
埼玉大学大学院理工学研究科		准教授	小嶋 文	出 席
東京工業大学環境・社会理工学院		准教授	真田 純子	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	白川 直樹	出 席
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院		教授	鈴木 崇之	出 席
東洋大学情報連携学部		教授	曾根 真理	欠 席
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院		教授	田中 伸治	出 席
千葉工業大学創造工学部		教授	寺木 彰浩	欠 席
東海大学工学部		准教授	中野 淳太	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	藤井 さやか	出 席
東洋大学理工学部		教授	村野 昭人	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	八十島 章	出 席
筑波大学システム情報系		准教授	山本 幸子	出 席

会 議：出席者 17名 欠席者 2名